

●吸気系変更

パワーユニット進化の目的に対して、吸気系を新設計。吸気ダクトのツイン化とエアクリーナー内部構造の見直しにより、従来に対して主にエンジン高回転域における吸気効率向上を図り、直4の魅力最大化を図りました。

また、ツイン化を図った吸気ダクトをCB650R、CBR650R双方とも専用仕様とし、それぞれの走りのキャラクターをより明確なものとししました。

○エアクリーナー内部構造変更

高回転エンジンに適したダウンドラフト式吸気レイアウトを従来モデルから継承した上でエアクリーナーを新設計。エアクリーナーエレメントを従来よりも20° 立てた配置とすることで、吸気がよりスムーズにファンネル側に流れる構造としました。併せてエアクリーナー形状適正化によりエレメントガードのパンチングメタルを廃止することでエアクリーナーエレメントの開口面積を約1.7倍拡大させました。これらにより吸気ダクトからファンネルに至るまでの吸気抵抗を低減させ、完成車としてさらに高回転域までストレスなく一気に吹け上がる直4ならではのパワーフィール獲得につなげました。

また、この新設計エアクリーナーは性能向上に大きく寄与しながら、肉厚変更や内部構造の見直し、前述のエレメントガード廃止などにより、従来に対して約200gの軽量化を実現しています。

■エアクリーナー断面 新旧比較イメージ図

